

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成28年5月17日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870200938		
法人名	株式会社 東海荘		
事業所名	グループホーム 東海荘ひだまり	ユニット名	2F
所在地	〒317-0071 茨城県日立市鹿島町2-12-9		
自己評価作成日	平成27年11月16日	評価結果 市町村受理日	平成28年6月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0870200938-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0870200938-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年1月20日	評価機関 決 済 日	平成28年5月17日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・家族と一緒に食事をするように同じ時間に食事やお茶を摂りながら過ごしている。</li><li>・一人一人の居室面積は広く、車いすの移動スペースにも十分対応できている。</li><li>・共有スペースであるリビングで利用者はほぼ一日過ごしている。自室で過ごすこともあるがこもりきりになることはなく思い思いに過ごされている。</li><li>・テレビ体操や嚙下体操、音楽に合わせた全員で行う体操等を日常的にレクリエーション感覚で取り入れているほか、身体状態に合わせてケアプランに沿った個別の機能訓練も毎日行いチェック表を付けている。</li><li>・月2回の定期的な訪問診療がある。24時間対応なため急変時や夜間でも往診や訪問看護を受けられる体制を取っている。</li><li>・毎週献立を作成し季節感のある食事提供を心がけている。</li><li>・日時を調整し一人一人がゆっくりと入浴を楽しめるように業務内容や流れを工夫している。</li></ul>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者の散歩コースは近くの商店街や公園などになっており、多くの地域住民と交流をもつほか、近くの喫茶店でお茶を飲んだりして、地域とつながりながら穏やかに生活をしている。</p> <p>献立は1週間毎に職員が立て、ほぼ毎日利用者と一緒に買い物に出かけ、季節の食材を取り入れた食事を提供しているほか、おせち料理や節分祭、クリスマス会などの行事食は利用者の楽しみとなっている。</p> <p>事業所は現在までに数十人の看取り介護を経験し、看護師を中心に全職員は利用者や家族等の意向にそった看取り介護ができるよう、協力医療機関と連携して取り組んでいる。</p> <p>職員は事業所の理念の中にある「自分らしく」に重点を置き、朝の体操や発声練習、スクワットを取り入れ、利用者の残存能力が低下しないよう取り組むとともに、利用者一人ひとりが生き生きとした生活ができるように支援している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	週1回のカンファレンスや随時の話し合いの中で、または連絡ノートによる伝達で情報の共有ができるように努めている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントやお祭りに参加したり近隣への散歩や外出時に会話を交わしている。また、ボランティアによる演芸・手品・エステ、学生によるコーラス等、家族の面会以外にも地域との交流は多い。事業所自体も以前から町内会に入っており、日常的に交流している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	外部の人が施設に見学や相談をしにきた際などに事例を挙げて支援方法等を話すこともある。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	情報交換をすることや、他施設での運営推進会議に出席した際にも実際に居住環境や利用者様の実際の意見を聞くことでサービス向上に向けてのヒントを得、可能なことは取り入れるようにしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	身寄りのない方や生活保護の方も受け入れており、市のケースワーカーとの連絡もこまめに取って協力関係の構築に努めている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に当たる行為の概要を職員は周知しているが、日々の生活の中で職員が自覚なしに言葉による抑制をしてしまうこともある。その際には随時指導をしている。以前夜間帯に外へ出てしまった利用者があり、安全面や防犯上の必要性から夜間は玄関施錠をしている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング等で情報を共有しながら接遇面での定期的な教育をしている。職員が自分の強い口調に気付かずに話しているのを見かけた際には互いに注意し合う環境にしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域の研修がある際には出席している。また、以前、実際に成年後見人になった家族の方がいた際には相談に応じたことがあった。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	相談時の面談を含め契約時にも再度内容を理解し疑問や確認事項をよく聞き、理解・納得をされてから契約するようにしている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族から意見や要望がある際には面会時や電話などで随時受けている。また、月に1回の社協訪問の際に受けた意見を運営に反映させている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	利用者への生活の質向上に反映できる意見や提案に対しては他職員とともに話し合い運営に反映させている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員のシフトやト仕事への取り組みの様子は、1日のうち何度か現場へ向かうため概ね把握できている。職員個人からの相談はその都度受けている。個人の勤務時間や体制についての希望は極力取り入れながら、他職員とも公平性が保てるように調整している。
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会や勉強会があるときには多くの職員が参加できるようシフトの調整に努めている。多くの職員が研修を受けられる機会を作り資質の向上が図れるように努力している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	互いの運営会議の席上において意見や取り組み状況を報告したり、電話やファックス等のやり取りも行っている。また、地域の勉強会や研修会等で同業者と接する機会はある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前にも面談をし本人の不安や要望などを聞き入所前情報を口頭と文書で伝達している。サービス利用開始の段階でも職員は特に詳細に生活の様子を個人記録や連絡ノートなどに記し情報の共有をしている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所する前に面談をし不安に思っていることや要望等を聞いている。サービス利用開始時にも利用者の生活の様子等の情報を密にし、家族が安心できるように努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談を行った際他のサービスが適当な場合は相談の上、他のサービスを提示したり他の施設の見学も勧めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活を共にする家族の意識を持ち、できるところは自分でしていただいたり職員のする仕事の一部と一緒にしている。食事やお茶の時間には一緒に摂り時間を共有している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には本人の生活の状況を伝えたり、本人からの要望を家族とともに話し合い一緒に支援する体制を作っている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の人や所属していた会なども含め、家族や親せきとの関係が円滑に保てるよう連絡や近況報告をしている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	話しかけや会話を特定の利用者のみならずことなく言葉の少ない利用者へも話を振り話題に参加出来る工夫をしている。皆で一緒に行う毎日の体操やレクは日課としており、利用者同士のリビングでの会話も多い。皿を下げたり洗ったりなどができる人はそうでない人の助けをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後でも必要なことや求めることがあれば随時相談に応じている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人から直接聞き取りをするほか、会話の中に出てくるちょっとした言葉から希望や意向を拾い確認することもある。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの聞き取りや、情報提供書等から把握をしている。また、入所前までのサービス担当者に直接電話で情報を得ている。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常的に概ね計画はあるが本人の意向や心身状態により適宜工夫している。実際の介護現場においての本人の様子観察、介護日誌や個人記録、申し送り等から本人の現在の状態を把握するようにしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	変化があった時には随時話し合いをしている。多くはケアプラン作成時におけるサービス担当者会議で、ケア計画が実情に即したものであるかを含め今後のケアのあり方を検討。その際にはケアプラン（2）表の項目のチェック表を用いる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	就業前に連絡ノートに目を通すようにしている。服薬やケアの方法が変わったなど特記事項のある場合には連絡ノートに記入しているので情報を早急に共有できるようになっている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他科受診の必要がある時に家族対応が困難な状況にある利用者に対しては、付き添いや送迎を行なっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で利用できる施設利用や行事参加をすることなどの他に、家族や友人・知人との外出が出来るように支援している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望する病院に受診をする場合は優先しているが、ほとんどの利用者は当施設のかかりつけ医に転向している。医師の指示で検査などの指示があれば家族もしくは職員が付き添って受診している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職は、口頭や連絡ノートによる情報伝達を看護職員にしている。看護職員は利用者全員に問診、身体状態をチェックし、口頭でのもし送り及び利用者ごとの日誌に記録している。また、緊急時にはいつでも往診や訪問看護が受けられるようにしている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には医師や相談員等と電話連絡や面談をしながら情報交換をし、できるだけ早く退院できるように努めている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意思を尊重し相談した上で同意書を取り、医師と連携しながら介護に取り組んでいる。看取りの同意書を確認しているが徐々に変化していく本人や家族の意向を随時確認しながら慎重に進めている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	提携している医療機関は24時間体制であるため、緊急時には連絡を取り指示を仰いでいる。連絡網の作成により連絡の体制を整えているが職員の定期的な初期対応訓練については実施には至っていない。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の実施や災害時に近隣の協力を得られるように運営推進会議などにおいても話題にして話し合っている。地域へは協力依頼の旨を町内の青年会に伝えてある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症の疾患があっても本人を全人的にとらえ人格を損ねない言葉かけを心がけている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を表出できるよう話す環境に留意しながら傾聴している。着替えの衣類などもどちらにするか本人へ意向を確認し選択できるよう提示を心がけている。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の順番なども無理強いせず、見たいテレビなどがあるときには終わるまで待つようにしている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容室カット時には好みの注文を聞き整容をしている。また、イベントや外出時には化粧をしたり普段とは違う衣服を希望した時には希望に沿った支援をしている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は主に職員が主に担っているが配膳や下膳、食器を洗い布巾で拭くなどを職員とともに行っている。食事や10時.3時のお茶の時間は職員も一緒に座って同じ内容の物を摂り、談話をしながら過ごしている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	活動量や身体状態により個々に応じた主食量で提供している。毎月の体重測定記録で著名な変動のないことを確認したり定期的な血液検査の数値から栄養状態を把握している。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きやうがいをしている。義歯は就寝前に洗い個人個人消毒。自分でできる利用者以外は職員が対応している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時の声かけ誘導のほか、尿意の頻回の方には訴え時にその都度対応している。体調不良時に止む無くオムツを使用した場合でも回復後は自力排泄の継続ができるように計画的に進めている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分補給の観察や促しをし毎日記録をして不足がないかを確認している。運動は個別に行う項目を毎日実施している。排泄チェック表を基に3日間排便が見られない場合には医師と相談し薬剤を使用することもある。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ゆっくり入浴を楽しめるようにのぼせない程度に本人の好む時間の入浴をしている。入浴前には本人へ意向を確認しながら誘導している。強く拒否のある時には無理強いせず次に声掛けをしている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	年齢、身体的に必要と思われる利用者に対しては30分程度の休息が出来るよう本人の意思を確認してから居室ベッドで休んでいただいている。夜間帯ですぐに入眠出来ずに起きている方に対しては他者への良眠の妨げにならないよう職員と一緒にリビングで過ごしている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的なカンファレンスや診察のあった際の申し送り事項伝達から情報を共有している。看護師や薬局の指導を受けながら職員も必ず「お薬手帳」や日誌、連絡ノートに目を通して服薬状況や定期薬変更時の情報を確認している。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や食後の片付け、紙箱作りなど得意分野を個々にしていただいております。必ず労をねぎらう言葉かけをしています。個別または数人で近隣への散歩や外出をするなど季節感や開放感などが感じられるよう支援している。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設は市街地であるものの交通量の少ない場所にあり歩いて5分ほどのところに公園もある。気候の良い時期には日常的に散歩に出かけている。また、家族や友人と一緒に馴染みの場所へ行けるように調整したり、施設職員と一緒に車で外食へ行くことをイベントとして取り入れている。



自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望する利用者に対しては小口で預かっているお金を持たせ職員と一緒に買い物に行ったり喫茶店でお茶を飲む際に、店側との金銭の受け渡しを支援。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望がある際には電話の使用や手紙の代筆等も行い家族や大切な人たちとの交流が続けられるよう支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>心地よい環境で過ごせるよう室内温度のこまめな調整やテレビの音量に随時配慮している。季節の花を飾ったり行事を表した塗り絵などの作品掲示、イベント時の飾りつけなどを通じて華美にならない程度に季節が感じられる工夫をしている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングで一緒に過ごされているときでもテレビを見たり手作業をしていたり周りとの会話をしていたり思い思いの時間を過ごしている。自分の部屋でゆっくりとテレビを楽しむ方もおり、また、こたつのある方の居室で数人の方が談話をしていたこともあった。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の生活の中で馴染みのあるものや使い慣れた品、思い出のあるものなどをいくつか置いており本人が以前の生活を想起でき居心地よく過ごせるようにしている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩行や移動を妨げる障害物を除き限られた空間を安全に過ごせるようにしている。また、エレベーター前の衝立には掲示物や写真を掲示して目線をそらせられるよう工夫をしている。廊下には手すりをつけ自力歩行可能な方でも歩行時の支えに使用している。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない